

FLOWER FARMER



生産者 JA 安房 西岬共撰部会（山崎佑太さん）

「消費者の方々に喜んでもらうため、品質の良い花の出荷を目指しています。天候の影響等で需要が高まる時期と花の収穫ピークがずれてしまうところが経営の難しいところです。」
ストックの他には『西岬のひまわり』として知られているひまわりも栽培。



「花を買ったらやっぱりうれしいです！」日本でも日常で花を贈る機会が増えれば、花の需要はもっと上がるはず。



スタンダードタイプのストックは、大型のアレンジメントや花束に適している。スプレータイプは切り分けてミニブーケやアレンジメントに。枝が分岐して細いので1本で花びんに挿すのもいい。



外出自粛は花の出荷にも大きな影響があったそう。でもこんな時だからこそ、花で気分を盛り上げてほしい。



まずは、お花屋さんでお気に入りの花を見つけて、家に飾ってみてほしい。
きっと花のキレイさに気づき、その魅力を感じるはず。——（花農家 山崎さん）

山崎佑太さんは、千葉県安房地域で、若手のホープとして活躍している花農家さんです。
11月から3月までの間はストック、3月から9月まではひまわりを生産しています。
ストックなど花の魅力について聞いてみました。

ズバリ！生産されているストックの魅力を教えてください。

一番の魅力は色のバリエーションが豊富なところでしょうか。色で気分を変えられるから、自分好みの色を選んで楽しめる場所ですね。

ストックは涼しいところなら2週間、真冬なら1か月くらい長く楽しめますよ。

ストックは彼岸用というイメージがあるかもしれませんが、花の楽しみ方は、決まった使い方にこだわる必要はないんじゃないかって思うんです。リビングや玄関、それに洗面台とかに飾ると華やかになるし、香りもステキですから、部屋いっぱいに広がった香りで、幸せな気持ちになれるんです。

山崎さんおすすめの色は、黄色とローズピンクだそうです。

消費者、特に若い人たちに伝えたいことはありますか？

花の魅力は飾ってみないと分からないというのが僕の持論です。普段、花とは無縁の生活をしている人って意外と多いんです。

まずは、お花屋さんへ1度行って見て、1本でもいいからお気に入りの花をみつけて家に飾ってみてほしいんです。そうすると初めて花のキレイさに気づくんじゃないかと思うんです。

花は家に飾るとキレイだし、気分もよくなるし、また、長持ちするように世話を焼いたり、いろいろアレンジを楽しんだり、そういうことって一度経験してみると、楽しいってことに絶対気づくと思うんです。

今、世の中大変だから、こういう時こそ癒やしのある毎日に花を！と思います。

女性にプレゼントをするための花を持った男性が、街を歩く光景が普通に見られるようになったらステキですね。



お花屋さんで並んでいるストックは60cm～80cmと茎が長め。花びんに生けたり、アレンジメントする時は短く切って使う。

ストックは秋から春に芳香のある花を咲かせ、様々な園芸品種が栽培されています。ヨーロッパではその歴史は古く、古代ギリシャでは薬草として生産されていました。日本には江戸時代初期に渡来し、大正時代末期には日本で初めて切花の生産が開始されます。千葉県では、安房地域を中心に施設や露地で栽培されており、スタンダードタイプ（一本）、スプレータイプ（分岐）が栽培されています。



農園インフォメーション

- ストックの栽培時期
11月から3月まで
- ひまわりの栽培期間
3月から9月中旬頃まで

